

令和5年度発達障害支援者研修（強度行動障害・事例検討） 実施要領

1 目的

この研修は、発達障害者とその家族の身近な地域において、個々の発達障害の特性に配慮した、切れ目のない支援体制が整備されるよう、発達障害者の支援機関におけるスキルアップ及び連携体制の構築・強化を図ることを目的として実施する。

2 概要

対 象	次の種別の障害福祉サービス事業所において、発達障害、知的障害、精神障害のある者を支援対象にした業務に従事している者、もしくは、今後従事する予定のある者。 【対象事業所種別】 居宅介護、重度訪問介護、行動援護、生活介護、短期入所、重度障害者等包括支援、施設入所支援、自立訓練（生活訓練）、共同生活援助		
実施方法	オンライン形式（ZOOM）		
受講料	無料	定 員	30名
日 程	2月22日（木）14：00～16：30		
講 師	宮崎県中央発達障害者支援センター センター長 水野 敦之 氏		
事例提供者	広島県内の生活介護事業所（2事業所）		

3 研修プログラム（※予定）

2月22日 （木）	13：30～14：00	受付
	14：00～14：10	開会・事務連絡
	14：10～16：20	冰山モデルを使った事例検討 （生活介護事業所における成人の支援事例（2例）を、冰山モデル（発達障害の特性と環境の相互作用）の視点から検討）
	16：20～16：30	事務連絡・閉会

※ 受講決定者は、当日までに「冰山モデル」に関するオンライン動画（25分程度）で事前学習を行う。
（動画視聴用のURLは、受講決定通知と合わせて送付予定。）

4 効果測定アンケートの実施

研修の効果測定を目的に、研修後、修了者に対してアンケートを実施する。

5 受講申込方法・期日

受講を希望する場合は、**2月7日（水）まで**に、受講申込フォームから申込を行うこと。
受講希望者が定員を超過した場合は、県において受講者の選定を行う。

【令和5年度発達障害支援者研修（強度行動障害）事例検討会 受講申込フォーム】

▶▶ URL：<https://forms.gle/5jY4JD25T7DhyPm47>



6 受講者の決定

広島県から、**2月9日（金）**を目途に受講の可否について申込者に通知する。
通知については、原則受講申込時に記入された連絡先メールアドレス宛てに送付する。

7 受講後のフォローアップ支援について

地域の発達障害者支援の現場に、研修の内容をより効果的にフィードバックさせるため、希望する研修受講者の所属機関に対し、広島県発達障害者支援センターによるコンサルテーション等のフォローアップ支援を実施する。（広島市は除く）

フォローアップ支援の日程や回数、内容等については、同センターと所属機関で調整し決定することとし、訪問に要する費用は、同センターの負担とする。

なお、申し込みが多数の場合は、選定を行う場合がある。

8 問合せ先

(1) 研修内容、研修受講方法、受講申込等に係ること

広島県発達障害者支援センター 担当者：奥森・吉元
（電話）082-490-3455 （FAX）082-427-6280
（E-mail）hiroshima-scdd@forest.ocn.ne.jp

(2) 受講決定に係ること

広島県健康福祉局障害者支援課 地域生活・発達障害グループ 担当者：石原
（電話）082-513-3157 （FAX）082-223-3611
（E-mail）fusyoushien@pref.hiroshima.lg.jp